

ウィーン体制

- ① 正統主義・勢力均衡の考えを原則として調印された、ウィーン会議の最終条約の名称は何か。
- ② 上記①でイギリスがオランダから獲得した、アフリカ南端の地域はどこか。
- ③ 上記①でイギリスがオランダから獲得した、インド南端の島はどこか。
- ④ ナポレオンによる征服後 1801 年にイギリスが占領し、ウィーン会議で承認された、シチリア島南端の島は。
- ⑤ 上記①で独立を回復し、南ネーデルラントを併合して成立した、オランダの国名は何か。
- ⑥ 上記①でオーストリアが獲得した、北イタリアの二つの地域はどこか。
- ⑦ ウィーン会議で認められた 3 5 君主国と 4 自由市から構成されたドイツ地域の国家連合名は何か。
- ⑧ ウィーン議定書でプロイセンが獲得した、工業地帯にあるライン中流域の地域名は何か。
- ⑨ 旧ワルシャワ大公国地域に形成され、ロシア皇帝が国王を兼ね、事実上ロシア領となった王国はどこか。
- ⑩ ウィーン議定書でロシアがスウェーデンから獲得した地域はどこか。
- ⑪ ウィーン議定書でロシアがモルドヴァ公国から獲得した地域はどこか。
- ⑫ ウィーン議定書で永世中立国として承認された国はどこか。
- ⑬ ウィーン会議によって成立した 19 世紀前半のヨーロッパの国際的反動体制を何と呼ぶか。
- ⑭ 上記⑫を補強するために、成立した、キリスト教的友愛精神に基づく君主間の精神的盟約は何か。
- ⑮ 上記⑬の結成を提唱したロシアの皇帝が誰か。
- ⑯ 1815 年 11 月、イギリス・ロシア・オーストリア・プロイセンの間に成立した軍事的・政治同盟は何か。
- ⑰ 国際政治において力をふるう強国の協議とあって、勢力均衡と平和を維持するしくみを何と呼ぶか。
- ⑱ 19 世紀半ばを中心に、イギリスが圧倒的な経済力と軍事力をもっていた状態を指す言葉は何か。

ウィーン体制の動揺と七月革命

- ① 1815 年、ドイツの自由と統一を求めて結成された、大学生の組合は何と呼ばれるか。
- ② 19 世紀初め、イタリアの独立と統一や自由主義改革を目的に、南イタリアで結成された秘密結社は何か。
- ③ 1812 年のカディス憲法を復活させたが、1823 年にフランス軍の干渉で、立憲革命が挫折した国はどこか。
- ④ 1825 年、十二月党員のロシア青年貴族将校が自由主義的改革をおこした反乱は何か。
- ⑤ ラテン＝アメリカ諸国の独立を援助したのち 1825 年からギリシア独立を支援したイギリス外相は誰か。
- ⑥ 1814 年のブルボン復古王政で即位した国王は誰か。
- ⑦ 上記⑥の弟で 1824 年に即位し亡命名貴族に賠償金をえるなど、反動政治を推し進めた国王は誰か。
- ⑧ 1830 年 7 月、国民の不満を外にそらすため、上記⑦が出兵を強行した北アフリカの地域はどこか。
- ⑨ 1830 年 7 月、パリ市民が蜂起して復古王政を打倒した出来事は何か。
- ⑩ 上記⑨のあと、自由主義的貴族として推され、国王に即位したオルレアン家の人物は誰か。
- ⑪ 七月革命で成立した、制限選挙に基づく立憲君主政を何というか。
- ⑫ ルイ 14 世の弟が祖で、上記⑩の出た家は何か。
- ⑬ 七月革命を題材として描いたドラクロワの作品名は何か。
- ⑭ 七月革命の影響下、1830 年にオランダから独立を宣言し、翌年に立憲王政が成立した国はどこか。
- ⑮ 七月革命の影響下、ロシアによる支配からの離脱を求めて蜂起したが、ロシア軍に鎮圧されて失敗に終わった国はどこか。